

# 準・メルクル、ロマンへの憧憬

愛と激動の  
19世紀末を駆けた作曲家たち

2018

# 9/22<sup>土</sup>・9/23<sup>日</sup>・祝

## 京都コンサートホール

京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分  
午後2時30分開演 (午後1時30分開場)

Sat, September 22, 2018 / 2:30PM

Sun-National Holiday, September 23, 2018 / 2:30PM

Kyoto Concert Hall

©伊藤葉々子

©CH Fotodesign Christiane Höhne

# 京都市交響楽団

## 第627回 定期演奏会

*The 627th Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra*

開演前 (午後2時ごろから) は  
指揮者による「プレトーク」でお楽しみください。  
「プレトーク」はホール・ステージ上に開催します。

指揮 **準・メルクル**

Conductor : Jun Märkl

ワーグナー：歌劇「タンホイザー」から  
序曲とヴェヌスベルクの音楽(バッカナール)

グリーグ：「ペール・ギント」組曲第1番op.46

ブラームス：交響曲第4番ホ短調op.98

Wagner : Overture and Venusberg Music (Bacchanale)  
from Opera "Tannhäuser"

Grieg : "Peer Gynt" Suite No.1 op.46

Brahms : Symphony No.4 in E minor op.98

入場料 **S ¥5,000** **A ¥4,500** **B ¥3,500** **P ¥2,000** (舞台後方席)

当日残席がある場合のみ発売 ▶ 学生券&後半券 **S ¥2,000** **A ¥1,500** **B ¥1,000**

※学生券は開演1時間前から (学生証をご提示ください)、後半券は開演後から休憩終了 (後半開始)

まで発売 (学生券は、席種は選べますが、座席指定はできません)。

- ◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約)をご利用ください。  
(お子様お1人につき1,000円/2018年9月14日までに京響075-711-3110へお申し込みください)
- ◆10枚以上のチケットお申し込みには団体割引 (10%OFF) があります。  
京響 (075-711-3110) までお問い合わせください。

プレイガイド (電話予約)

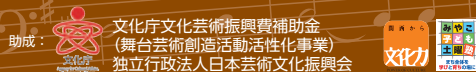
- 京都コンサートホール… (075)711-3231
- ロームシアター京都… (075)746-3201
- 24時間オンラインチケット購入 <https://www.e-get.jp/kyoto/pt/>
- チケットぴあ…………… (0570)02-9999 Pコード349-200
- ローソンチケット………… (0570)000-407 Lコード58095

お問い合わせ

京都市交響楽団 (075)711-3110 <https://www.kyoto-symphony.jp/>

京都コンサートホール (075)711-3231 <https://www.kyotoconcerthall.org/>

©未就学のお子様のご入場はお断りいたします。 ©都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。



主催：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団 京都市



協賛：ローム株式会社

協力：株式会社ドルチェ楽器

後援：(株)エフエム京都

発行：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた  
音楽との出会いをお届けします。



# 京都市交響楽団 第627回定期演奏会

The 627th Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra

19世紀末ヨーロッパ楽壇を二分した、オペラを極めたワーグナーVS絶対音楽にこだわったブラームス。かたやワーグナーの影響を受けつつも自国の民族音楽を追求した国民楽派グリーグ。三者三様の個性を持った作曲家たちがそれぞれの愛を込めて綴った揺れ動く後期ロマン派時代の傑作を、満を持して京響へ登場するドイツ出身の精鋭、準・メルクルがロマン漂う情熱的なタクトで紡ぎます。

指揮

準・メルクル

Conductor : Jun Märkl



©CH Fotodesign Christiane Höhne

準・メルクルは、これまでドイツ作品の中核をなすレパートリーにおいて、管弦楽作品、オペラ両方の分野で確固たる評価を得ているが、近年は加えてフランス印象派作品の精緻かつ独自の解釈においても評価が高まっている。ミュンヘンで生まれ、ハノーファー音楽院でヴァイオリン、ピアノ、指揮を学んだ後、セルジウ・チェリビダッケ、グスタフ・マイヤーに学ぶ。86年にドイツ音楽評議会の指揮者コンクールで優勝。その1年後には、ボストン交響楽団の奨学金を得てタンブルウッド音楽祭に参加し、レナード・バーンスタイン、小澤征爾に学んだ。ヨーロッパの歌劇場での出演を重ね、ザールラント州立劇場(1991-94)、マンハイム国立劇場(1994-2000)の音楽監督をつとめた。1993年に、「トスカ」でウィーン国立歌劇場にデビュー、1996年には「神々の黄昏」でロイヤル・オペラ・ハウスに、99年には「イル・トロヴァトーレ」でメトロポリタン歌劇場にデビューするなど、次々とオペラ指揮者としてのキャリアを築いてきた。ウィーン、ベルリン、ミュンヘンそしてドレスデンの国立歌劇場との長年の関係に加え、管弦楽作品の指揮者としても、リヨン管弦楽団の音楽監督(2005-11)、ライプツィヒMDR交響楽団の首席指揮者(2012年まで)を務めるなど、華やかなキャリアを築いており、2014-15年、2015-16年シーズンはバスク国立管弦楽団の首席指揮者。クレーブランド管弦楽団、フィラデルフィア管弦楽団、NHK交響楽団、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団、ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団など世界的なオーケストラとの共演を重ねている。日本には、1997年にNHK交響楽団を指揮してデビュー、その後も共演を重ねている。2000年にはウィーン国立歌劇場来日公演、「メリー・ウイドウ」、2001年から4年がかりで上演された新国立劇場でのワーグナー「ニーベルングの指環」チクルス、2007年のドレスデン国立歌劇場来日公演「タンホイザー」、他にもパシフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)への参加、水戸室内管弦楽団との共演など、めざましい活躍を続けている。さらに、国立音楽大学の招聘教授に就任し後進の指導にもあたる。2015年1月には読売日本交響楽団を初めて指揮、大阪フィルハーモニー交響楽団への客演など、近年は更に活動の幅を広げている。レコーディング活動も活発で、2014年は、ロイヤル・スコティッシュナショナル管弦楽団と、細川俊夫のアルバムを2タイトルリリース。リヨン管弦楽団とは、シュトラウス、ベートーヴェン、マーラー作品(Altus)、ドビュッシー、ラヴェル、メシアン作品(Naxos)を、MDRライプツィヒ放送響とは、ブラームス、シェーンベルク作品(Altus)、メンデルスゾーン作品(Naxos)、NHK交響楽団とは、マーラー、ドビュッシー作品(Altus)、シューマン交響曲全集(Exton)などをリリースしている。2012年、リヨン管弦楽団との功績を称えられ、フランス芸術文化勲章・シュヴァリエを受章。



©伊藤菜々子

## 京都市交響楽団 Kyoto Symphony Orchestra

日本唯一の自治体直営オーケストラとして1956年創立。2008年4月第12代常任指揮者に広上淳一が就任。2014年4月からは常任指揮者兼ミュージック・アドヴァイザーに広上淳一、常任首席客演指揮者に高関健、常任客演指揮者に下野竜也が就任。2015年広上淳一とともに「第46回サントリー音楽賞」受賞。同年6月には広上淳一の指揮のもとヨーロッパ公演で成功を収め、2016年は創立60周年を記念して国内ツアー6公演と京都市内各所で「ふらっとコンサート」全10回を開催し、平成28年度地域文化功労者表彰を受ける。2017年1月「第37回(2016年度)音楽クリティック・クラブ賞」本賞、同年3月には「第29回ミュージック・ベンクラブ音楽賞」クラシック部門「現代音楽部門賞」を受賞。2017年4月からは下野竜也を常任首席客演指揮者に据えて広上・高関・下野による強靱な3人指揮者体制を確立し、名実ともに文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。

2018 7/21(土)から発売!

❖ 次回予告 ❖

2018 8/26(日)から発売!

### 第628回定期演奏会

熟練の名指揮者ヨエル・レヴィのバルトーク  
ヴィヴィアン・ハーグナーの魂を揺さぶるブラームス

日時: 2018年10月12日(金) 午後7時開演

会場: 京都コンサートホール

指揮: ヨエル・レヴィ

独奏: ヴィヴィアン・ハーグナー (ヴァイオリン)

曲目: モーツァルト: 交響曲第32番ト長調 K.318

ブラームス: ヴァイオリン協奏曲ニ長調 op.77

バルトーク: 管弦楽のための協奏曲

### 第629回定期演奏会

偉大なる巨匠ラザレフ、待望の再登場!  
郷愁のロシア音楽〜グラスノフ&ボロディン

日時: 2018年11月17日(土) 午後2時30分開演

2018年11月18日(日) 午後2時30分開演

会場: 京都コンサートホール

指揮: アレクサンドル・ラザレフ

曲目: グラスノフ: パレ音楽「四季」 op.67

ボロディン: 交響曲第2番短調



©K.Abosch



©Timm Kölln



©山口敦

入場料 S ¥5,000 A ¥4,500 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)

入場料 S ¥5,000 A ¥4,500 B ¥3,500 P ¥2,000 (舞台後方席)